

学びの池

「令和7年度 3学期始業式のあいさつ」

学校長 須藤 勝也

20日間の短い冬休みでしたが、有意義に過ごせたでしょうか。皆さんの元気に登校する姿を見て、大変うれしく思いました。

さて、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」ということわざがあります。これは、この3カ月間は恒例行事が多く月日が足早に過ぎてしまうことを例えたものです。3学期は一年の締めくくりの時期ですが、一方で次の学年、新たな進路に向けた大切な準備期間でもあるのです。そして、準備期間後には、明るく希望に満ちた「春」を迎えます。「春」は英語で「スプリング」と言いますが、「スプリング」には「泉」という意味もあります。その語源は「はじける」や「バネ」で、「春」は木々の芽がはじける季節、「泉」は水が湧き出る場所なのです。「バネ」は力を加え一度押し縮めた後に放つと跳ね上がります。そのとき、強い力を蓄えれば蓄えるほど「遠く」まで、はじけることが可能になるのです。今日から始まる2ヶ月間、時間は皆さんに平等であり、同じように過ぎていきます。4月は進級・進学の時節、新たな決意を抱き、大きく飛躍するチャンスです。新年度に向けた短い準備期間である3学期の一日々々を大切に、令和8年度を輝かしい一年にしてください。

今私たちを取り巻く日本の社会では、物価高が長期化して経済的には苦戦を強いられる状況が続いています。また、昨年の元旦には震度7の大地震が能登半島にあり、家屋の倒壊、津波や土砂崩れの被害があり700名近くの人々が尊い命を亡くされました。その後も、わが国では地震や風水害などの自然災害が幾度となく起きており安全・安心な生活が強く求められています。また、世界では、武力行使によって他国の領土や資源を略奪し、多くの民衆の平和で幸福な生活を奪う人権侵害が日常化している現実があります。そんな時だからこそ、近い将来、あと数年で社会へ足を踏み入れる皆さんには、一年の始めに当たって、夢や目標を持ってほしいのです。その実現に向け、努力を惜しまずに一生懸命頑張る姿が、自分自身を勇気づけ元気づけ、そして社会生活全体を明るくものにしていけると信じています。

3学期の授業日数は、3年生は40日ありません。1、2年生は47日です。次のステップに進む準備のために、各学年、それぞれ1年間の仕上げの時期となります。足下を見つめて落ち着きのある日々を過ごし、平岸の生徒として『有終の美』を飾る3学期にしてください。

「3学期の抱負と進級に向けて」

2年 代表生徒

私は2学期、学級代表として自主的な行動ができなかったと感じています。例えば、話し合いの中で意見を積極的に出したり、効率よく進めたりできず、うまくいかないときがありました。また、良くない言動をしている人に注意できないときもありました。

今後は学級代表としての自覚をもち、自信をもって発言し、事前の準備を徹底することで、話し合いを効率よく進めていきたいです。

3学期は、3年生に向けての助走期間です。3年生でよりよいスタートを切るためにも、自分のよくないところと向き合い、改善していくことが必要だと考えています。また、来年度の受験を視野に入れ、学習の質を高めていきたいです。

卒業式の合唱では、3年生に素晴らしい歌を届けるために、1年生を引っ張っていきたいです。お世話になった先輩たちに、安心して卒業できるような姿を見せられるよう、頑張ります。

3年生に向けての助走期間として、学年全体がレベルアップできるように、学年協議会の一員として、力を尽くしていきたいです。

◆生徒の活躍の記録

○令和7年度札幌市お弁当レシピコンテスト
特別賞 3年生

○吹奏楽部 第57回北海道アンサンブルコンテスト
札幌地区予選 銀賞

◆1月の主な行事予定（変更もあります）

1月16日（金）	3年第4回定期テスト② （嫁・数・理・財）
19日（月）	スキー授業（2年1・2組）
21日（水）	3年得点通知表配付
22日（水）	生徒会運営委員会
23日（金）	スキー授業（2年3・4組）
27日（火）	職員会議・完全下校
28日（水）	委員会局会・生徒会運営委員会
30日（金）	特別支援学校高等部入試